
「全国男女共同参画宣言都市サミット in いずも」共同宣言

私たち内閣府の男女共同参画宣言都市奨励事業を実施した自治体は、全国の神々が集う神在月の出雲において、大会テーマ「認め合い 支え合い とともに輝くみらいへ」のもと、男女共同参画社会の実現について意見を交わしました。

男女共同参画の推進について考える時、21世紀日本における躍動する地域社会を創造することこそ、日本の発展につながり世界に貢献していく道であります。しかし、わが国の現状をかえりみると、女性が社会のあらゆる分野における企画立案や政策決定にリーダーシップを発揮し、地域社会を先導していく力が欧米先進国に比べて立ち遅れていることを痛感します。

そこで、男女がそれぞれのもつ個性と能力を十分に発揮し、21世紀日本における躍動する地域社会を創造していくために、次のことを確認し宣言します。

1. 私たちは、それぞれの地域社会あるいは家庭において、男女が互いに認め合い支え合う意識のもと、心豊かな男女共同参画社会が実現できるように住民・企業及び関係諸団体と連携・協力し、積極的に取り組んでいきます。
2. 私たちは、行政や経済・福祉・教育・文化などのあらゆる活動の場において、男女がともに個性と能力を発揮し、対等な立場で活躍できるよう、男女がそれぞれ自己啓発に努め、相互支援の情熱をもって行動にうつす地域づくり、まちづくりに積極的に取り組んでいきます。
3. 私たちは、男女が互いにその人権を尊重し、それぞれのもつ個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現をめざし、家庭や学校における幼児期から青少年期の生活指導、教育・学習活動等の一層の充実発展に取り組んでいきます。

平成20年11月7日



鳥取県鳥取市長 竹内 功
岡山県倉敷市長 伊東 香織
熊本県合志市長 大住 清昭
島根県出雲市長 西尾 理弘
